

JIS

電気絶縁用無溶剤液状レジン試験方法

JIS C 2105 : 2006

(JEIA/JSA)

平成 18 年 8 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 計測計量技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	梶 村 皓 二	財団法人機械振興協会
(委員)	石 川 洋 一	社団法人日本電気計測器工業会
	石 崎 法 夫	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	市 原 裕	株式会社ニコン
	伊 藤 尚 美	社団法人日本計量機器工業連合会
	大 園 成 夫	東京電機大学
	河 野 嗣 男	東京都立科学技術大学名誉教授
	桜 井 康 好	環境省
	高 辻 乗 雄	日本精密測定機器工業会
	桧 野 良 穂	独立行政法人産業技術総合研究所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 18.7.20

官 報 公 示：平成 18.7.20

原 案 作 成 者：社団法人照明学会

(〒100-0048 東京都千代田区神田司町 2-8-4 吹田屋ビル TEL 03-5294-0101)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：計測計量技術専門委員会 (委員長 梶村 皓二)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人照明学会(IEIJ)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

これによって **JIS C 1609** は廃止され、**JIS C 1609-1** 及び **JIS C 1609-2** に置き換えられる。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任をもたない。

JIS C 1609 には、次に示す附属書がある。

- 附属書 1 (規定) **JIS C 1609-1** の経過規定
- 附属書 2 (参考) 色補正係数とその求め方
- 附属書 3 (参考) 分光応答度測定法
- 附属書 4 (参考) 照度計受光部の受光基準面の求め方
- 附属書 5 (参考) 偏光特性の評価法
- 附属書 6 (参考) 受光面の応答の均一性評価法
- 附属書 7 (参考) 変調光の評価法

JIS C 1609 の規格群には、次に示す部編成がある。

- JIS C 1609-1** 第 1 部：一般計量器
- JIS C 1609-2** 第 2 部：特定計量器